

## 日本神経精神薬理学会第 41 回理事会（2008 年度）議事録

日時：2008 年 6 月 13 日（金）15:00～18:00

場所：学士会館分館（東京）

出席者：樋口輝彦理事長、大熊誠太郎、亀井千晃、齋藤利昭、武田弘志、武田雅俊、  
松田敏夫、山脇成人、油井邦雄、吉岡充弘、米田幸雄（以上、理事）、小島卓也、  
五味田裕（以上、監事）

議事：

- ・報告事項
- 議事録の承認

### 1. 第 38 回年会準備状況報告

日時：2008 年 10 月 1 日（水）～3 日（金）

会場：品川プリンスホテルアネックスタワープリンスホール（東京都）

会長：山脇 成人（広島大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経医科学）

第 18 回日本臨床精神神経薬理学会年会（会長：石郷岡 純）と共催

山脇会長より本年会開催に関する概要が報告された。

本年度は第 18 回日本臨床精神神経薬理学会と合同であり、日本臨床精神神経薬理学会との関係を深め、そのメリットを生かせるようプログラム策定に配慮していることが報告された。

また、専門薬剤師制度（精神科専門薬剤師部門）に絡むセミナーなどを企画していることが報告され、専門薬剤師制度について側面から協力すべく、日本病院薬剤師会などから情報収集し体制を整えることとなった。本年会中に実施される多くのセミナーは精神科薬物療法認定薬剤師の認定申請に必要な単位として認められている。

### 2. 各種委員会報告

#### a. 総務委員会（米田理事）

米田理事より審議事項がある旨報告された

#### b. 編集委員会（武田（弘）理事）

鈴木委員長が欠席のため、武田（弘）委員より、本学会機関誌「日本神経精神薬理学雑誌」の編集業務は順調に進んでおり、28 巻 3 号の最終校正が昨日終了したので、近日中に発刊予定であること、引き続き投稿および審査への協力を賜りたい旨報告された。また、合同年会のシンポジウムを昨年のようにミニレビューとして掲載する予定であることが報告された。

#### c. 財務委員会（大熊委員長）

大熊委員長より 2007 年度の決算が提示され、問題なく運営されていることが報告された。収入に比べ支出が多くなっているが、支出は 2006 年時の実績と比べても特に問題なく実施されており、収入の正会員の会費納入率の低さが問題であると指摘された。今後は会費徴収の催促に努めるとともに会費滞納者の除名の作業などを実施することとなった。

#### d. 国際学術委員会（山脇委員長）

山脇委員長より韓国、中国、タイ、マレーシアなどと共に AsCNP（アジア神経精神薬理学会）が設立され、第 1 回年会の会長に山脇委員長が推挙され、来年の第 39 回

日本神経精神薬理学会（第19回日本臨床神経薬理学会と合同）の際に開催されることなどが報告された。AsCNPについては後ほど詳しく説明される。

また、2010年に開催される第27回CINP大会について日本としても支援すべく活動していること、6月2日にそのための会合をProf. Belmaker並びにProf. Tangに加え日本臨床神経薬理学会の兼子直理事長などにご参加いただき開催したことが報告された。

第27回CINP大会：

会長： Prof. SW Tang

会期： 2010年6月6日～10日

会場： Hong Kong Convention and Exhibition Center（香港・中国）

e. 学術賞選考委員会（齋藤委員長）

本年度受賞者について次の2名が決定したことが報告され、協議の結果、承認された。

・非臨床系

北山 友也（広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態探究医科学講座歯科薬理学）  
対象論文：Assessing an Eating Disorder Induced by 6-OHDA and the Possibility of Nerve Regeneration Therapy by Transplantation of Neural Progenitor Cells in Rats（日本神経精神薬理学雑誌，第27巻3号，p109-116，2007年）

・臨床系

山田 典子（愛媛大学大学院医学系研究科健康科学研究室）

受賞対象論文：判別分析による若年女性の冷え性を識別する指標の選択：冷え性者の身体面及び精神面の特性（日本神経精神薬理学雑誌，第27巻5/6号，p191-199，2007年）

候補論文として非臨床系は10編、臨床系2編があり、うち非臨床系4編、臨床系2編が会員歴4年以上という規定を満たしていなかったが、審査対象とした上で議論の末、決定したことが報告された。

これを受け、学術賞規定について討議され、議論の結果、学術賞規定から会員歴に関する制限を削除し、「年齢50歳未満の会員」を対象とすることとなった。

f. 長期計画委員会（尾崎委員長）

尾崎委員長は欠席であり、報告事項は特になかった。

g. 広報委員会（油井委員長）

油井委員長より本学会ホームページ上に「トピックス」と「ここが知りたい」のページを設け、評議員に協力いただき、有用な情報を掲載できたことが報告された。

その他、学術賞論文の要旨の掲載と、過去3年間の学会機関誌の掲載論文タイトルなどを掲載したことが報告された。

また、Professor Belmaker, Professor Tangが参加したCINP(香港)の支援会議を開催し、その際、先方からの広報内容も提示されたのでホームページに掲載する予定という報告があった。

h. 倫理委員会（亀井委員長）

亀井委員長より、前回理事会から委員会を開催していないため報告事項がないことが説明された。

i. 研究推進委員会（西川委員長）

西川委員長は欠席であり、報告事項は特になかった。

3. JSNP/JSCNP 合同委員会（樋口理事長）

樋口理事長より本学会と日本臨床精神神経薬理学会の合同委員会が去る3月22日に開催されたことが報告された。

その際に、両学会統合について意見交換され、引き続き合同での年会開催を行うことや、更なる協力について話し合わせ、本委員会を継続的に活動させることとなったことが報告された。

4. アジア神経精神薬理学会（AsCNP）について（樋口理事長・山脇理事）

樋口理事長および山脇理事より以下の通り報告された。

- ・AsCNP の組織が日本5名、韓国4名、中国3名、台湾・タイ・香港・インドネシア・シンガポール各1名で組織される予定であること
- ・日本よりの代表は、本学会と日本臨床精神神経薬理学会からそれぞれ2名づつ、理事長と総務委員長がその職にあたり、会長として山脇理事、事務局長として大森哲郎評議員が参加する
- ・AsCNP との折衝は JSNP/JSCNP 合同委員会がこれにあたる

5. 第39回年会準備状況報告（米田次期会長）

米田次期会長より以下の通り年会準備状況について報告された。

日時： 2009年11月12日（木）～15日（日）

会場： 京都国際会館（京都府）

会長： 米田 幸雄（金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室）

第19回日本臨床精神神経薬理学会年会（会長：大森 哲郎）および第1回AsCNP（会長：山脇 成人）と共催

6. その他

油井広報委員長より6月3日にも樋口理事長承認で6月2日に参加できなかった武田雅俊先生ら7名と Professor Belmaker, Professor Tang が参加して CINP(香港) の支援会議を開催した旨報告があった。

・ 審議事項

1. 新名誉会員推戴の件

米田総務委員長より名誉会員規定に沿って名誉会員推戴候補者のリストが提示された。学会創成期に活躍され既に退会などで本学会を離れている候補者がいることが指摘され、連絡先などの調査について協力することとなった。

2. 新評議員選考の件

米田総務委員長より、1名の推薦があることが報告され、検討の結果、承認することとなった。

3. 新入会希望者承認の件

米田総務委員長より、46名の新入会者リストが提示され、問題なく承認された。

4. 次々期会長の選出について（樋口理事長）

次々期（2010年）年会長の選出について、引き続き日本臨床精神神経薬理学会との合同年会とすることを確認し、次回理事会時に決定することとなった。

以上